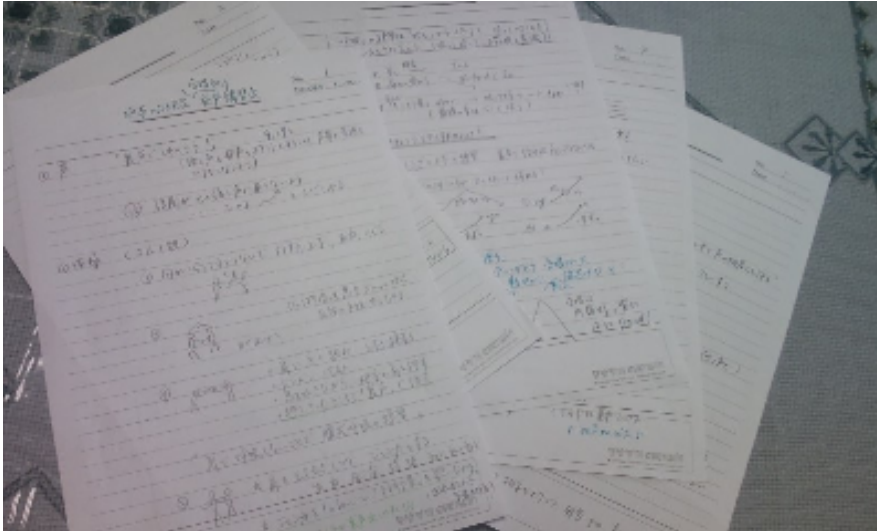


合唱発声講座に参加して。

- 2011.05.22 Sunday
- 16:12



20日金曜日10:30～16:00坂本かおる先生の合唱発声講座を聴講してきました。

「ビブラートもすぐ消える！」とのひとみ先生からのご紹介に飛びついたのはアルトから精鋭5名、ソプラノからは私1人。かおる先生のわかりやすい解説と豪快な話し振りに時間も忘れ。。。

要約は・・・

@普段から裏声で話そう！（話し声を歌声のポイントにすることでのどに負担をかけなくなる）

⇒これが理想だと学生時代から聞いていたけど断念・・・勇気がなかったのね🙄

@「声の上澄み」を使う。

自分の声に酔いたいのであれば、カラオケへ行け～！合唱に来る必要なし。

@ソプラノは薄く、細く、軽やかに美しく、雄たけびはNO！

@アルトは堂々と支えて、ソプラノがそこに乗っかる。

要するに合唱は、円錐形の響きの形を作ること。

- 早速、レポートをして広報にのせよう！と書き始めたら・・・5枚。

もうワードで書き起こす気力もなし。💻すみません。。。。

どんなご指導振りだったかは You tube と先生ご自身のブログで確認してみてください。

blog 「合唱って楽しい！～坂本かおるの実践的上達法～」

You tube 「坂本かおる」

それぞれじっくり見てゆくと自分の声で悩んでいることへのアドバイスが見つかるかもしれません。

学んできたことは今後のP練で各パートにふさわしい内容を選んで試してみたいと思っています。

言葉

- 2011.05.14 Saturday
- 23:28

今日は7:00からソプラノ&テナーの合同ボイトレ。

事前に毛利先生と打ち合わせ、的を絞ったご指導をしていただき、いくらかはポイントがつかめたようでホッとしています。その後の合わせでのひとみ先生提案の二手に分かれての聴きあってパート内で感想を言い合う練習も効果的で。いずれも前方で聴かせていただき、細かいことはさておき、「語ること」の大切さを感じました。

歌詞のページを見て声に出して読み、大きなフレーズを感じる必要性。ドイツ語もしかり。

そうすれば、息も大きくカラダの中から回って豊かな響きにもつながる。

特に、苦手な「良寛相聞」の4番の三連符のところは、日頃 特に感じていました。

そう、そう思い出した。。。

最近、好きな番組の一つにNHKの「DEEP PEOPLE」があります。

先日、小林幸子ら3人の女性演歌歌手が「こぶし」について話していました、

3人とも、歌詞にこだわってこぶしの箇所を決めるそう。

その中で、それぞれが師匠から言われた一言について語っていました。

小林幸子の師匠は「古賀政男」、そう「影を慕いて」の作曲者です。

その古賀政男さんが「**芝居は歌え、歌は語れ**」と仰った言葉が忘れられないとか。

「語る」

しばらく、これにこだわって練習してみませんか・って自分に言い聞かせる私。👱‍♀️

それでもって、今日、団員に渡した「練習計画表」

自分にカツを入れる意味もあってのことで、皆さん、お付き合いくださいませ～。



さてさて、団のたくさんの母たち、先生方に感謝の意味も込めてネット上ですがカーネーション 送ります。仙台の被災した花屋さんから買ったカーネーション、元気に咲いています！